

都城工業高等専門学校	開講年度	令和06年度（2024年度）	授業科目	国語
科目基礎情報				
科目番号	0045	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	建築学科	対象学年	3	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	『新編現代の国語』（東京書籍） ISBN:9784487165810、『新編言語文化』（東京書籍）ISBN:9784487165841、『新版六訂 新訂総合国語便覧』（第一学習社） ISBN:9784804033013、『漢字とことば 常用漢字アルファ 漢字検定8～2級 五訂版』（桐原書店）ISBN:9784342350214、『新編 論理国語』（大修館書店）ISBN:9784469623956			
担当教員	愛甲 祐子			
到達目標				
1. 現代文：筆者の主張や文章の構成を的確に読解し、問題意識を持つ力・発想する力を高める。 2. 古典：古典に描かれた伝統的な言語文化をふまえて、日本文化について自分なりに評価することができる。 3. 表現：文章の読解を通して身につけた語彙・発想を活かして自分の考えを文章にまとめる作文力を養う。小論文形式の文章作成に慣れる。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安 A	標準的な到達レベルの目安 B	未到達レベルの目安 C	（学生記入欄） 到達したレベルに○をすること。
評価項目1	筆者の主張や文章の構成を十分に理解し、身近な諸問題に対する考察に活かすことができる。	読解に必要な知識・語彙力を備え、要旨を把握して、それに対する自分の意見を持つことができる。	読解に必要な知識・語彙力をある程度備え、文意を少しは把握することができる。	A ・ B ・ C
評価項目2	古典に学ぶための基本事項を理解し、伝統的な言語文化をふまえて日本文化に対して自分なりに評価することができる。	古典に学ぶための基本事項を理解し、伝統的な言語文化への興味・関心を持つことができる。	古典に学ぶための基本事項を少しは理解し、古典に親しむ努力をすることができる。	A ・ B ・ C
評価項目3	基礎的な語彙力を十分身につけ、自分の考えを的確に文章にまとめることができる。	基礎的な語彙力を身につけて、自分の考えを文章にまとめることができる。	基礎的な語彙力を少しは身につけて、自分の考えを文章にまとめる努力をすることができる。	A ・ B ・ C
学科の到達目標項目との関係				
学習・教育到達度目標 3-1 学習・教育到達度目標 3-3				
教育方法等				
概要	第3学年では標準的な教材を用い、低学年教育を総括する。他科目における活動（文章表現・口頭発表・思考や発想）に繋げるための基礎的な国語力向上の「発展」と位置づける。低学年教育と高学年教育をスムーズに連結させるため、やや専門的な題材を選び実施する。			
授業の進め方・方法	現代文・古典教材の読解力を養う。教材に関連した課題において自身の考えを文章で表現する力を育む。（評価割合「試験」・「その他」） 併せて漢字小テストを定期的実施し、語彙力を養成する。（評価割合「小テスト」） 小レポート等の課題によって思考を整理し深化を促す。（評価割合「その他」）			
注意点	1. 本文を事前に読んで授業に臨む習慣をつけること。 2. 辞書・国語便覧を持参して授業に臨むこと 3. 板書をきちんとノートにとり、試験時の復習などに役立てること。 4. 提出課題においては分かりやすい文章の作成に努め確実に提出すること。口頭発表の機会があれば積極的に取り組むこと。 5. 単元に関連する情報の収集など、自分でできることには進んで取り組むこと。			
ポートフォリオ				

(学生記入欄)

【授業計画の説明】実施状況を記入してください。

【理解の度合】理解の度合について記入してください。
(記入例) ファラデーの法則、交流の発生についてはほぼ理解できたが、渦電流についてはあまり理解できなかった。

・前期中間試験まで：

・前期末試験まで：

・後期中間試験まで：

・学年末試験まで：

【試験の結果】定期試験の点数を記入し、試験全体の総評をしてください。
(記入例) ファラデーの法則に関する基礎問題はできたが、応用問題が解けず、理解不足だった。

・前期中間試験 点数：総評：

・前期末試験 点数：総評：

・後期中間試験 点数：総評：

・学年末試験 点数：総評：

【総合到達度】「到達目標」どおりに達成することができたかどうか、記入してください。
・総合評価の点数：総評：

(教員記入欄)

【授業計画の説明】実施状況を記入してください。

【授業の実施状況】実施状況を記入してください。
・前期中間試験まで：

・前期末試験まで：

・後期中間試験まで：

・学年末試験まで：

【評価の実施状況】総合評価を出した後に記入してください。

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング

☐ ICT 利用

☐ 遠隔授業対応

☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業計画の説明 論理国語：『自己推薦書を書こう』	授業計画・達成目標・成績の評価方法等の説明を理解する。 就職や進学にむけて必要な文書を知る。
		2週	論理国語：『自己推薦書を書こう』	自己推薦書（自己PR）や志望理由書などの書き方や要領を知り、自己紹介に代えて、自己PRやエントリーシートを書いてみる。
		3週	言語文化：詩『I was born』	音読し、詩の形やリズムを理解する。 詩の世界を理解し、主題をとらえる。 詩の主題を捉え、自分の感想をまとめる。
		4週	論理国語：『対話の精神』	語句の意味を理解し、段落ごとの内容を理解する。 評論文の構成や展開を理解する。
		5週	論理国語：『対話の精神』	語句の意味を理解し、段落ごとの内容を理解する。 評論文の構成や展開を理解する。
		6週	論理国語：『対話の精神』	評論文の構成や展開の仕方を理解する。 段落ごとの内容を捉え、全体の要旨をとらえる。 論拠を踏まえ、自分の意見をまとめる。
		7週	試験内容の確認・復習	試験に向けて学習内容を振り返る。
		8週	前期中間試験	
	2ndQ	9週	試験問題の解説及びポートフォリオの記入 言語文化：小説『羅生門』	語句の意味・漢字を理解する。 あらすじを理解する。
		10週	言語文化：小説『羅生門』	語句の意味・漢字を理解する。 あらすじ、段落構成を理解する。 主人公の性格や心理を読み取る。
		11週	言語文化：小説『羅生門』	段落ごとの内容を理解し、主人公と登場人物の性格や心理の動きを読み取る。
		12週	言語文化：小説『羅生門』	主人公と登場人物の性格や心理の動きを読み深め、主題を読み取る。
		13週	論理国語：『問いを立てて書こうーテーマ型小論文』	抽象的なテーマから問いをたて、問いを立てる方法を知る。 いくつかのテーマから、自分のテーマを選ぶ

後期		14週	論理国語：『問いを立てて書こう—テーマ型小論文』	選んだテーマに沿って、マップ法などを利用し、意見をまとめる。 小論文のプロットをたてる。
		15週	試験内容の確認・復習	試験に向けて学習内容を振り返る。
		16週	前期末試験 (17週目は試験答案の返却・解説及びポートフォリオの記入)	
	3rdQ	1週	論理国語：『ミロのヴィーナス』	使われている語句の意味を理解し、内容の概略を捉える。 評論文の構成や展開を理解する。
		2週	論理国語：『ミロのヴィーナス』	段落ごとの内容を理解し、文章の構成や展開を理解する。
		3週	論理国語：『ミロのヴィーナス』	段落ごとの内容を捉え、文章の構成や展開を理解する。
		4週	論理国語：『ミロのヴィーナス』	評論文の構成や展開を理解する。 内容を捉え、要旨をまとめる。 論拠を踏まえ、自分の意見をまとめる
		5週	論理国語：『文章を読んで書こう—課題文型小論文』	課題文型小論文の書き方と要領を理解する。 『ミロのヴィーナス』を読んで、芸術について考えたことを小論文をまとめる。
		6週	論理国語：『文章を読んで書こう—課題文型小論文』	プロットをたてて、小論文をまとめる。
		7週	試験内容の確認・復習	試験に向けて学習内容を振り返る。
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	試験答案の返却・解説及びポートフォリオの記入 言語文化：『枕の草子』『うつくしきもの』	「枕草子」の文学史的な位置づけを理解する。 文章の内容を理解し、古典について理解を深める。
		10週	言語文化：古典『枕の草子』『うつくしきもの』	「枕草子」の文学史的な位置づけを理解する。 文章の内容を理解し、古典について理解を深める。
		11週	言語文化：古典『伊勢物語』『芥川』	「伊勢物語」の文学史的な位置づけを理解する。 文章の内容を理解し、古典について理解を深め、登場人物の心理を読み取る。
		12週	言語文化：古典『伊勢物語』『芥川』	「伊勢物語」の文学史的な位置づけを理解する。 文章の内容を理解し、古典について理解を深め、登場人物の心理を読み取る。
		13週	古典：『徒然草』『雪のいとおもしろう降りたりし朝』	「徒然草」の文学史的な位置づけを理解する。 文章の内容を理解し、古典について理解を深め、登場人物の心理を読み取る。
		14週	古典：『徒然草』『雪のいとおもしろう降りたりし朝』	「徒然草」の文学史的な位置づけを理解する。 文章の内容を理解し、古典について理解を深め、登場人物の心理を読み取る。
		15週	試験内容の確認・復習	試験に向けて学習内容を振り返る。
		16週	学年末試験 (17週目は試験答案の返却・解説及びポートフォリオの記入)	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	前4,前5,前6,後1,後2,後3,後4
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	前4,前5,前6,後1,後2,後3,後4
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	前3,前9,前10,前11,前12,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前3,前4,前5,前6,後1
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	前3,前4,前5,前6,後1,後5,後6
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	前3,前4,後1
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	前6,後5,後6
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	前1,前2,前13,前14,後5,後6
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	前1,前2,前13,前14,後5,後6
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	前1,前2,前13,前14,後5,後6
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	前1,前2,前13,前14,後5,後6

